

長岡市の療育・相談体制の 検討ワーキング部会 報 告

つながる・とぎれない支援

•

•1

目的

- 就学前の特別な支援が必要な子どもについて、現在の早期療育・相談体制をより充実させるため、長岡市における既存事業の検証や各機関の役割を整理し、当事者のニーズに沿った支援体制づくりを推進することを目的とする。

•

•2

検討スケジュール

- ・6月26日 新潟市「児童発達支援センター こころん」視察（事務局）
（先進地の現状や課題等の把握）
- ・8月下旬 視察や意見交換結果等のまとめと確認
長岡市の既存事業や機関のリスト化
- ・9月21日 ワーキング部会①
「長岡市における現状確認と課題整理」
⇒既存事業や機関について情報共有し、課題点等を整理
- ・11月21日 ワーキング部会②
「目指すべき方向性について」
⇒部会で検討した内容について、ニーズが高く実現できると思われ
ることは担当課で予算要求するなど、次年度以降の実施に向けて検討

●3

部会メンバー

- 高橋呈子 長岡市私立幼稚園・認定こども園協会
- 高橋裕子 長岡療育園 通園センター
- 田邊香織 障害のある子どもの放課後活動を考える会・長岡
- 平原壮一 多機能こどもセンター銀河
- 桃生鎮雄 長岡市私立保育園協会

事務局

- | | | |
|-------|--------|-----------|
| 石田美智子 | 保育課 | |
| 木村 圭介 | 子ども家庭課 | 子ども家庭センター |
| 郷 ミホ | 子ども家庭課 | 子ども家庭センター |
| 関本 恵子 | 子ども家庭課 | すくすく子育て係 |
| 高森 要 | 子ども家庭課 | 柿が丘学園 |
| 林 直 | 青少年育成課 | 双葉寮 |

●4

第1回(9/21)

・ テーマ「長岡市における現状確認と課題整理」

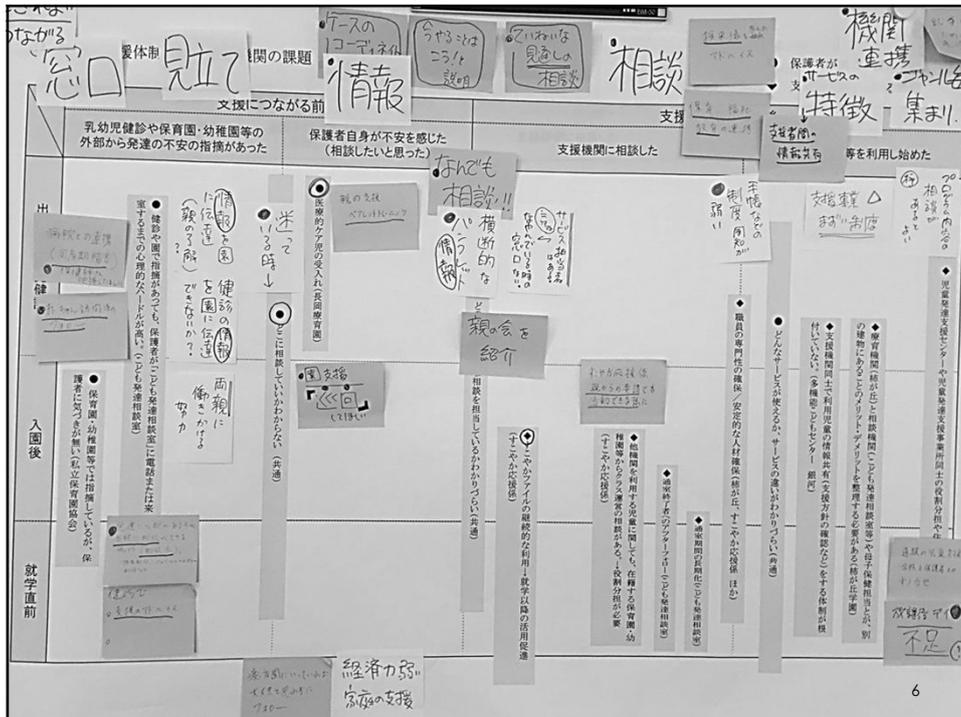
自己紹介

主旨等の確認

現状・課題・問題点等の確認と整理

シートを使用して作業

まとめ







第1回 要点のまとめ1

窓 口

- 迷っている時、どこに相談していいかわからない
- 保護者が迷っている時、相談を勧める機関(場所)が少ない
- 現在の相談機関は保護者にとってハードルが高い
- 現場が保護者に働きかける努力を続ける
- 保護者からの依頼ですこやか応援係が園訪問できないか
→気軽な総合相談、「何でも相談」の窓口があるとよい
→機関の特徴を把握する必要がある

第1回 要点のまとめ2

見立て

- 健診の結果をどう活用するか
- 健診で支援のアドバイスをするが不十分
- 赤ちゃん訪問後のフォローが弱い

●11

第1回 要点のまとめ3

情報

- サービスの違いが分かりにくい
- 健診結果等を園に伝達可能か
- 周産期障害などは医療機関との連携が必要
- 手帳取得などの制度周知が弱い
 - 機関の特徴を把握
 - データ集・総合パンフレットがあるとよい

●12

第1回 要点のまとめ4

相 談

- 見通しが持てる相談が必要(長期的視点)
- 今やることは何かを示せる相談が必要(短期的視点)
- 「将来像」を考えたアドバイスが必要
- 「親の会」の紹介も効果的
- すこやか応援係の巡回相談化
 - 具体的・専門的な相談体制を強化する必要がある
 - 相談支援事業所での「一般相談」がどの程度可能か---調整する必要がある

●13

第1回 要点のまとめ5

機 関 連 携

- 支援者間の情報共有
- 利用児童の情報共有が根づいていない
- 「すこやかファイル」の継続的な利用
- 医療、教育、福祉の連携
 - 関わっている機関が集まり、支援方針などの確認の場開催する必要がある
 - 子ども発達支援に関して、相談支援事業所の研修機会の開催が必要か

●14

第1回 要点のまとめ6

情報共有

- ・子ども発達支援に関わる機関の定例的な集まりがない
→定例開催の検討が必要

•

●15

第2回(11/21)

- ・ テーマ「目指すべき方向性について」

自己紹介(前回の補足)

第1回の内容確認

内容の整理と方向性等の追加

子ども・子育て会議での報告内容確認

まとめ

•

●16



第2回 内容

- 保育園・幼稚園では、迷っていたり、認識が弱い保護者に対して、相談先がわかるわかりやすいチラシがあるとよい
- 出生時に障害が把握できる場合は、医療機関から市に連絡があり、担当保健師が訪問、という流れができている
- 乳児は全戸訪問しているため、以前よりも対応できている
- 相談支援事業所に「ケアマネージャー」的な人材がいるとスムーズにつながると思う
- 子ども発達支援に関わる機関と幼稚園・保育園・学校との連携が必要である

キーワード

つながる支援 とぎれない支援

●19

平成30年度事業に反映したい内容

- ①総合的な相談の場の設置の検討
- ②「ながおか子どもの発達ガイドブック」、
ダイジェスト版(チラシ)の作成・発行
- ③相談支援事業所での「一般相談」充実の
検討
- ④子ども発達支援に関わる相談支援事業所
の定例的な情報交換会・研修会の開催
- ⑤関係機関の定例的な情報交換会の開催

●20